

令和3年度 11月の補導活動

佐久市少年センター

1	街頭補導実施回数	15回
2	延べ従事補導委員数	59人
3	相談件数	0件
4	補導した少年数	0人
5	声かけ人数	193人



11月の補導日誌から

11月1日(月) 街頭啓発活動(岩村田駅) 5・6班 (M・Y記)

概要

岩村田駅の街頭啓発活動に参加しました。青少年の非行、性被害防止、SNSの正しい使い方を周知するためにティッシュペーパー等を配布しました。電車を乗降する生徒や通勤する一般の方へ「おはようございます」とあいさつすると元気に返事をしてもらい、気持ちよく活動できました。この運動の目的意識が多くの人に伝わり、明るく安全に暮らせることを願います。



11月2日(火) 3班 (I・S記)

巡回経路 浅間会館 → 王城公園 → 岩村田小学校 → 岩村田児童館
→ 岩村田商店街 → 中央公園 → 浅間会館

補導の様子

王城公園は誰もいなかった。トイレはきれいに使用されていた。下校中の岩村田小学校児童が全員気持ちの良いあいさつをしてくれた。岩村田児童館では、児童が元気に活動していた。午後7時まで児童館にいられるとのこと、良い環境の中、楽しそうであった。中央公園で女子高校生2名に声かけした。「運動している」とのことで、気楽に話をしてくれた。気持ちの良いあいさつもあった。

11月4日(木) 学校訪問(野沢南高校) 10班 (U・O記)

概要

野沢南高校を訪問し、校長先生・教頭先生・全日制と定時制の先生より学校の様子をお話ししていただきました。生徒さんが安心して学校生活を送れるよう、大変ご尽力されていることが窺い知れました。ただ、生徒さんにとって必ずしも学校が安らぎの場にはなっていないとのことで、家庭での親子関係が良好でないと学校生活にも影響を与えてしまうことをお聞きし、家庭でも良好な関係を維持する努力が必要なことを改めて思い知らされました。学校では、1人1台のタブレット学習、プライベートでも1人1台のスマホとデジタル化の流れが加速していると思います。今後大きな課題となり得るのがSNSのトラ

ブル等で、いじめも対人ではなくネット上へ変わっていくと学校・家庭での管理も限界があるため、補導活動も巡回からネットパトロールまで範囲を拡げるような対応が必要とされるのでは・・・と考えさせられました。

11月5日(金) 14班 (T・Y記)

巡回経路 中込駅 → 駅周辺駐輪場 → 小海線隣接地下道 → 成知公園
→ 中込児童館 → サングリモ

補導の様子

成知公園では、初めは人がいなかったが徐々に小学生が集まってきて、6人程度が遊んでいた。天気がよくて気持ちがいい。中込児童館では、館長さんのお話をうかがった。60人を超える小学生が利用しているそうだ。まだコロナの影響でいろいろな行事ができないとのことだった。また、この冬はインフルエンザが心配とのこと。早く行事を楽しむことができるようになればよいと思う。

11月8日(月) 11班 (G・E記)

巡回経路 野沢会館 → 県民佐久運動広場 → 野沢南高校正門前通学路
→ 野沢児童館 → 原公園 → 野沢会館

補導の様子

県民佐久運動広場では、時間が早かったので児童はいなかった。庭のイチョウの葉がパラパラと散っていて風情があった。野沢南高校の生徒が横断歩道で手をあげ歩いてゆくのが印象的であった。高校の自転車置場が整然としており、「生徒が落ち着いている」と外観から感じられた。野沢児童館の利用は1年生31名、2年生13名、3年生8名でした。室内にて一輪車で仲良く遊んでいた。室内の遊びが多いが、問題はないとのこと。原公園では8名がいた。6年生がほとんどで、ゲームや宿題をしている児童、ロープのジャングルジムで遊んでいる児童が思い思いに楽しそうに過ごしていた。あいさつをすると、返答があった。トイレはきれいでした。公園のドウダンツツジが真赤に紅葉しており、目の保養となりました。



11月9日(火) 15班 (K・K記)

巡回経路 中込駅 → 中込会館 → 佐太夫町公園 → 横町公園 → 平賀新町公園
→ アヴェニュー区内公園 → 平賀神社 → 佐久総合運動公園

補導の様子

本日は、天気が悪く、公園・神社等には子どもの姿が見られなかった。中込会館2階の学習スペースにて学習する生徒がいました。

11月10日(水) 7班 (S・Y記)

巡回経路 ミレニアムパーク → 市民交流ひろば → カラオケ店
→ 平根児童館

補導の様子

風が強い日で集合場所にも多くの落葉が集まっていた。ミレニアムパークと市民交流ひろばを巡回し、カラオケ店でスタッフに話を聞いた。「高校生には身分証などを確認し、時間は22時までとしている」とのことであった。平根児童

館では外で元気にサッカー、紙飛行機などで 15 名程の児童が遊んでいた。室内では宿題、将棋、積木ブロックなどで過ごしていた。館長さんとの話では「今年は、前年の半分くらいの 30 名程の児童しか来ていない」とのことでした。早く多くの児童が来て利用して欲しいと思いました。

11月11日(木) 学校訪問(佐久長聖高校) 4班 (I・A記)

概要

午後4時から佐久長聖高校を訪問しました。予定時間の10分前頃に校舎内に入ると、複数の生徒から「こんにちは。」とあいさつをされ、「こんにちは」と返事をして笑顔になりました。学校内の雰囲気がいよと感じました。校長先生から、生徒の将来を見据えてクラブ活動(スポーツ系・文科系)と学業の「文武両道」を実践しているとのことでした。駅伝部をはじめ、全国トップレベルのクラブ活動と学業の両立はすごいと感じました。懇談の中で、夕暮れが早まる中、中・高校生の自転車の無灯火での運転が話題になりました。

11月12日(金) 12班 (U・T記)

巡回経路 野沢会館 → カラオケ店 → 市民交流ひろば → 大型スーパー内
ゲームコーナー&フードコート → 野沢会館

補導の様子

カラオケ店は、新型コロナウイルスの影響でお客があまり戻って来ていないとのこと。訪問した時刻が早かったせいかお客はほとんどいなかった。市民交流ひろばでは、3歳くらいの子どもと若いお母さんたちがたくさんいてみんな楽しそうに遊んでいた。この『ひろば』は、小さい子どもには安心して遊べる良いところだと思いました。大型スーパー内のフードコートでは、中学生・高校生・一般の人たちが静かに話をしたり食事をしたりしていました。コロナ対策もしっかりできていると思いました。



11月15日(月) 20班 (S・M記)

巡回経路 望月支所 → 大伴神社 → 望月サテライト校正門前 → 大型スーパー
→ 若駒児童公園 → 望月商店街 → 望月バスターミナル → 望月支所

補導の様子

歩いて補導活動をしました。寒くなってきたので、子どもとはほとんど会わなかったです。大型スーパーで店長さんにお話を伺った。子どもだけで買い物に来ることはないようです。店内での問題はないとのこと。若駒児童公園を出た交差点で、学校帰りの女子小学生に会った。信号機のある交差点を渡った所で、停車してくれた運転手さんたちに向かってお辞儀をして行きました。補導委員一同、礼儀正しい小学生だと思い、感心しました。

11月16日(火) 8班 (S・M記)

巡回経路 浅間会館 → 鼻顔公園 → 駒場区ひよこ公園 → 新子田八幡神社
→ 紅雲台区公園 → 浅間会館

補導の様子

巡回時間が早かったのか下校途中の小学校低学年生を見かけた程度であった

が、東児童館では低学年の子どもたち 10 名位が遊んでいた。紅雲台区公園では、保護者が見守る中、小学生数名が元気よく遊んでいた。天気は良かったが風が少し冷たかったせいか他に遊んでいる子どもを見ることはなかった。中学生の下校時間には少し早かったかもしれない。これから日の暮れるのが早くなるので、明るいうちに帰宅して欲しいと思った。

11月17日(水)

16班 (O・T記)

巡回経路 中込駅 → 城山保育園 → 佐久城山児童館 → アヴェニュー区内公園
→ 平賀神社 → 平賀保育園跡地 → 佐久総合運動公園 → 中込駅

補導の様子

城山保育園にて園長代理の方にお話を聞きました。現在の園児の人数 130 人で佐久市内では3番目に多いということです。中込中学校の近くで高校生に声かけをしました。最近では自転車の二人乗りをしている人は、ほとんどいないとの返答でした。新型コロナウイルスが初めて報道されて、約3年が経とうとしていますが、児童館では、子どもたちは、数多くの行事が中止となりましたが、子どもたちなりに自主的な発案で活動しているように見えました。



11月18日(木)

学校訪問(浅科中学校)

19班 (Y・H記)

概要

浅科中学校を訪問し、教頭先生から次第に沿ってお話を伺いました。学校目標“挨拶・清掃・歌声・食事”と校長先生の“ピンチはチャンスに”をもとに先生方ものびのびと指導していらっしゃるとのこと。部活(スポーツ・文化)、地域交流(太鼓同好会)等の参加、歴史を学ぶことで地域定住に少しでもつながればとの方針で指導に当たっているとのこと。部員5名の女子バスケット部が、東信大会でベスト8になったということも伺いました。大変ありがたく思いました。また、社会問題となっている“いじめ・不登校・ネット(SNS)の利用等”、教職員の啓発活動で対応し今のところ問題なことはないが、把握していないこともあるかと思うので、補導活動等で気づいたことがあれば教えて欲しいとのこと。補導委員の方からもいくつか事例を挙げての話を出して、先生方、生徒たちの努力を垣間見ることができて有意義でした。専門補導委員から近年の犯罪や少年非行の資料を基に説明があり、社会全体の問題と理解しました。

11月19日(金)

17班 (K・S記)

巡回経路 あいとびあ臼田 → 龍岡城駅 → 田口児童館 → 五稜郭公園
→ 青沼児童館 → 臼田図書館

補導の様子

あいとびあ臼田を出発して龍岡城駅経由で田口児童館に向かいました。駅ではちょうど列車が来ましたが乗降客はないように見受けられました。田口児童館では30名以上の児童がいました。館長さんのお話によると、コロナ感染者が減少してきたこともあり、活気が出てきたとのことでした。前回伺った時よりも、子どもたちの表情が明るく見えました。次に五稜郭公園を経由して伺った青沼児童館では、子どもたちの人数は少なかったですが、曜日によって変動があるとのことでした。最後に臼田図書館で、最近の様子を職員から伺いました。

11月22日(月)

18班 (T・T記)

巡回経路 臼田交番 → 切原児童館 → あいとびあ臼田 → 下の宮児童公園
→ 臼田交番

補導の様子

雨が降る寒い中、帰途につく小学生、中学生が傘を持っていないことが気になりました。切原児童館は低学年の男女児童 10 人程が、図書室でそれぞれ自分の好きな事に集中して行っておりました。子どもが皆、私にのびのびと話しかけてくれました。下の宮児童公園では雨で暗く、誰もいませんでした。LEDの街路灯が灯り、安心感がありました。「あいとびあ臼田」では、中学生の少人数の出入りが玄関先エントランスであるそうです。事務の方がいるので見守れると思いました。

11月24日(水)

9班 (I・M記)

巡回経路 野沢会館 → 泉児童館 → 岸野児童館 → 城山公園 → 野沢会館

補導の様子

泉児童館では 40~50 人の子どもたちが利用しているとのことで、最近は徐々に来館する児童が増えてきていると館長さんがおっしゃっていました。庭でサッカーをする子どもが 2 人、体育館でドッジボールをしている子どもたちが 10 人くらいいました。ドッジボールの後も庭に出てサッカーボールを追いかけるなど、大きく楽しそうな声が響き渡り、とても賑やかな雰囲気でした。岸野児童館では、20 人くらいの子供が利用していました。まず、終わらせなければいけない勉強をしている子どもや、新しく買った遊具を使って遊んでいる子どもなど、静かな雰囲気でした。外が寒いこともあり、館外で遊んでいる子どもはいませんでした。城山公園には、4 人の小学生(うち 3 人は 5 年生)がいましたが、2 人は宿題をしており、真面目だなと思いました。他の 2 人はゲームをしていましたが、「家では、家の決まりで時間でやめるようにしている」とのこと。薄暗くなる中、すぐ家路に向かいました。野沢会館には、中学・高校が試験中ということもあり、勉強をするために多くの中・高校生が集まって(自習室約 20 人、ロビー 8 人)いました。皆、私語も発せず真剣に勉強に集中していました。



11月25日(木)

13班 (M・T記)

巡回経路 中込駅 → 横町公園 → 水上公園 → 橋場公園 → 成田公園
→ カラオケ店 → 成知公園 → 南部交番

補導の様子

最近は、外で遊ぶ子どもの姿を見かけないような気がします。今回は、中込地区内の公園を訪問しました。ほとんどの公園は人影がありませんでしたが、成知公園には、大勢の子どもたちが仲良く楽しそうに野球をしたりブランコに乗ったりして遊んでいました。南部交番を訪問し、交番所長から最近の少年非行等について伺いました。タバコを吸ったりお酒を飲んだり深夜出歩くような少年はほとんどいないとのことでした。

11月29日(月)

2班 (A・R記)

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → ミレニアムパーク内プレイサークル
→ 佐久平駅前交番 → 大型スーパー内ゲームコーナー&フードコート

補導の様子

外気も冷え込み始めたせいか、人気もまばらで市民交流ひろば、ミレニアムパーク内プレイサークルは成人が1人だけだった。話を聞くとそんなに目立ったトラブルもない様なのでよかったです。大型スーパーは子どもたちが来る時間帯としては早かったこともあり、生徒たちの姿はほとんど見られませんでした。

11月30日(火)

1班 (K・M記)

巡回経路 大型ゲームセンター → 久保田公園 → アミューズメント施設
→ 仙祿湖公園 → 大型ゲームセンター

補導の様子

木枯らしが吹く中での巡回でした。久保田公園では、住吉町区の皆さまのアダプト美化活動のおかげできれいに整備されていました。アミューズメント施設のパチンコ店の店長は「未成年者の入場はありません。未成年か成人か分からない時には声かけをしています」とのことでした。また、カラオケと焼肉店はコロナの影響で営業していませんでした。仙祿湖公園は静かな佇まいでした。佐久インターチェンジの側道のフェンスのところにポイ捨てのごみが目立ちました。今日は、子どもたちに会うことが少なかったです。

＜専門補導委員より＞

師走になり、寒さが増して参りました。日常生活においてさまざまな行動制限があるなかで今年が暮れようとしています。ご多忙の中、補導活動や街頭啓発活動および学校訪問に携わった皆さま方に御礼を申し上げますとともに、来年の安寧を祈念します。

さて、去る11月27日に佐久平交流センターにおきまして開催された佐久市青少年健全育成市民集会は、10代から80代までの182名の皆様にご参加いただきました。

市内中学生8名の意見発表と水谷 修氏による講演会を行いました。意見発表は、日頃の思いを表題にして前向きにまとめ、多くの聴衆の前で発表する姿勢は大変頼もしく感じました。参加者のアンケートには、「中学生の発表がとても良かった。どの生徒も自分の経験に基づいて自分の言葉で発表していました。発表の姿勢も堂々としていました。」「中学生の意見は新鮮で心に響いた。」「佐久市の未来は明るいぞ！」等のご意見をいただきました。



水谷 修氏からは、「さらば、哀しみの青春 ～夜回り先生、いのちの授業～」という演題で、横浜市夜間定時制高校の教諭時代から、悩める思春期世代の支援者として全精力をかけて取り組んでこられた熱量あるお話をお聞きすることができました。参加者のアンケートには、「お話を聞いて涙が止まりませんでした。毎日楽しく生きていられることの大切さ、夜の世界しか知らない子どもの話は衝撃でした。自分の子育てを改めて考えるいい機会になりました。自分は生きていく価値がある人間なんだと思ってくれるように子どもに声かけしていきたいです。」などと、それぞれの思いが綴られていました。